

# 夏の甲子園ベスト8報告会

## 光星ナイン「応援が力に」

第101回全国高校野球選手権大会（6～22日・甲子園）で5年ぶりのベスト8に入った八学光星ナインが21日、同校の体育館で行われた全国大会出場部活動による報告会に臨み、大会期間中の在校生の応援に謝意を示した。

光星は開幕試合の1回戦で誉（愛知）に快勝。2回戦で智弁学園（奈良）に競り勝ち、甲子園で春夏通算30勝目を挙げた。3回戦は海星（長崎）にサヨナラ勝ちしたが、準々決勝で明石商（兵庫）に惜敗した。

報告会で、仲井宗基監督は「3年生がよくまとまっていた。メンバー以外の部員が積極的にサポートし、

レギュラーを後押ししてくれた」と団結力の強さを8強入りの要因に挙げた。

大会で2試合連続本塁打を放つなど活躍した近藤遼一は取材に「大きな声での応援はしっかり聞こえていて、力になった。甲子園で積んだ経験を大学でも生かしたい」と、次のステージを見据えていた。（林泰輔）



夏の甲子園での8強入りを報告し、声援への感謝を伝えた八学光星野球部の武岡龍世主将（中央）ら＝21日、八学光星高体育館

### 「世界一に」 武岡が決意

U-18 W杯

第29回WBSC U-18 ベースボールワールドカップ（30日～9月8日・韓国）で日本代表ヘッドコーチを務める八学光星監督の仲井宗基氏と、代表メンバーに選出された同校の武岡龍世が21日、取材に応じ、本番での健闘を誓った。

代表チームは22日から国内で合宿、26日に大学日本代表と壮行試合を行った後、韓国入りする。

取材に対し、仲井氏は「日本の高校野球のレベルの高さを世界に示したい」、同校から3年ぶりの代表入りとなる武岡は「日本代表として世界一になれるよう頑張る」とそれぞれ意気込みを語った。（林泰輔）